

平成21年度

決算

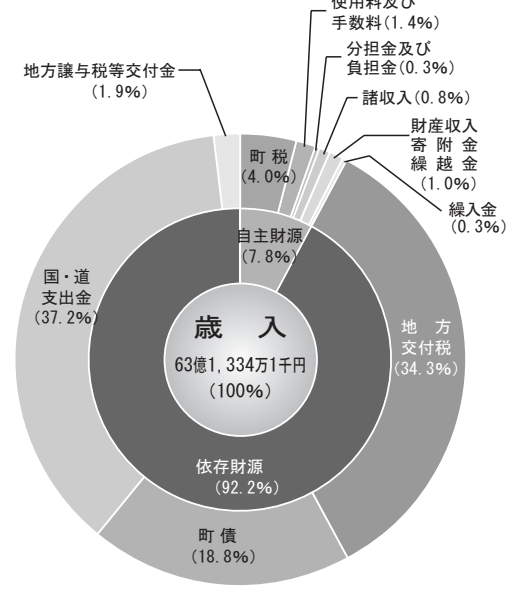
まちの財政は、一般会計のほか7つの特別会計を設けて運営しています。このほど平成21年度の各会計の決算とこれに基づく健全化判断比率などがまとまりましたので、その内容についてお知らせします。すべての会計決算は、監査委員の意見を付して去る9月22日開会の第3回町議会定例会に提出し、決算審査特別委員会に付託されましたので、12月の第4回町議会定例会において認定の可否が審議されます。決算は、まちづくりを進めていくうえで予算がどのようにして使われたのかが明らかにしたものです。その内容を詳しく見てみましょう。

一般会計支出総額 61億8,165万2千円
7特別会計支出総額 12億6,980万9千円

◆一般会計歳入決算額

Table with 5 columns: 区分, 決算額, 構成比, 前年度増減. Rows include 町税, 地方譲与税等交付金, 地方交付税, etc.

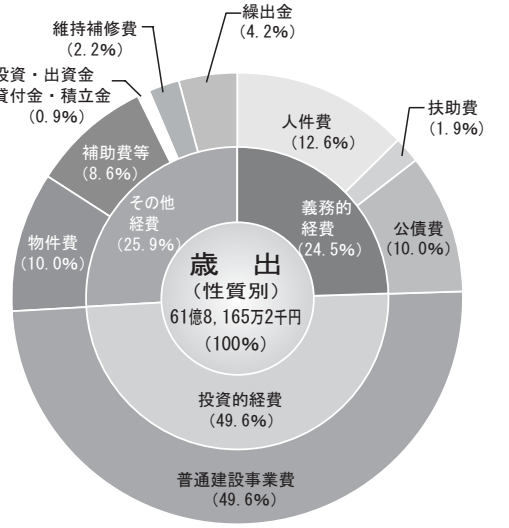
◆歳入構成図



◆一般会計歳出決算額

Table with 5 columns: 区分, 決算額, 構成比, 前年度増減. Rows include 人件費, 物件費, 扶助費, etc.

◆歳出構成図



◆収支

Table with 4 columns: 区分, 平成21年度, 前年度, 増減. Rows include 差引収支.

町民一人あたりの収入額 219万3千円
平成21年度の一般会計の決算額は、収入総額63億1,334万1千円で前年度に比べて30億4,626万7千円(93.2%)増加しました。これは、平成20年度からの繰越事業である農山漁村活性化プロジェクト支援整備事業(ふらの農協ポテトチップス工場建設事業)に伴う国庫補助金17億1,000万円と経済危機対策関連事業に係る国庫補助金3億4,155万円、町債(借入金)が11億8,524万5千円(うちポテトチップス工場建設分8億3,480万円)増加したことが主な要因です。また、収入総額の約3割を占める地方交付税は、財政状況の厳しい過疎地域などへの配慮がされ、2,838万8千円増加しました。町税などの自主財源は1割未満となっており、まちの財政運営は、国に大きく依存していると言えます。

町民一人あたりの費用額 214万7千円
支出総額は、61億8,165万2千円です。町民一人あたりの収入額は219万3千円、費用額は214万7千円、町民一人あたりの預金残高は39万2千円、町民一人あたりの借金残高は299万1千円です。平成21年度末の借入金の残高は、一般会計で66億3,635万8千円、特別会計で19億7,528万3千円、総額は86億1,164万1千円となっており、前年度末より6億4,396千円(町民一人あたり20万7千円)増加しています。

◆町税の内訳

Table with 3 columns: 項目, 収入額, 構成比. Rows include 町民税, 固定資産税, 軽自動車税, etc.

町民一人あたりが納めた町税 8万7千円
各会計の歳入不足を補うために積み立てている基金の残高は、平成21年度末で11億2,955万1千円となっており、前年度末より1億406万円(町民一人あたり3万5千円)増加しています。町民皆さんに納めていただいた町税の総額は、前年度より429万3千円減少の2億5,025万4千円となり、収入総額の4.0%の割合となっています。なお、町税の内訳は次のとおりです。

用語解説

- 人件費: 職員給与や議員、各種委員会委員報酬などの経費
物件費: 施設管理や物品購入、旅費などの経費
扶助費: 老人医療助成、児童手当などの経費
補助費等: 富良野広域連合などへの負担金および各種団体への補助金経費
維持補修費: 道路の維持および除雪経費、公共施設の補修経費
普通建設事業費: 公営住宅、町道整備などの公共事業経費
公債費: 借入金返済金
積立金: 各種基金への積立金
繰出金: 簡易水道、下水道会計など特別会計への繰出金
貸付金: 奨学資金や水洗化改造資金の貸付金
義務的経費: 人件費などその支出が義務付けられている経費
投資的経費: 道路、住宅などの公共事業経費
その他経費: 義務的経費、投資的経費以外の経費